

就労移行支援事業所連絡会

～サービス管理責任者・リーダースタッフ Ver.～

3月26日(金)開催

昨年9月から開始した就労移行支援事業所連絡会の年度総会を行いました。初回以降、主に新型コロナウイルス感染対策を目的にリモートにて開催してまいりましたが、今回久しぶりに顔を合わせて話し合いの場を持つことができ、年度末の開催でありながらも5事業所8名の方々が参加されました。以下、報告です。

活動の実績

- ・ 9月10日：全体会（意見交換）
- ・ 11月24日：サービス管理責任者・リーダースタッフ Ver.（企業情報・イベントの共有）
- ・ 12月15日：支援員 Ver.（顔合わせを含めた意見交換）
- ・ 1月26日：サービス管理責任者・リーダースタッフ Ver.（見学・実習等の希望や状況について）
- ・ 2月16日：支援員 Ver.（日々の支援における疑問や悩みの共有）
- ・ 3月25日：サービス管理責任者・リーダースタッフ Ver.（年度総括&次年度活動計画）

今年度の総括

今年度は第1回目の全体会にて頂いたご意見を元に、2回目以降の開催を計画して参りました。就労移行支援事業所のみを対象とした連絡会は初めてとなりますが、コロナ禍の状況においてもリモートを活用しながら定期的実施することが出来ました。その中で、「同一地域の支援員同士でも初めて顔を合わせる方が多い」「他の事業所がどのような取り組みをしているか知らない」という現状が改めて分かり、お互いの情報や悩みの共有、意見交換を行うことから会を運営していくことになりました。そして、回数を重ねていくうちに支援員や事業所毎のニーズが明確になっていき、次年度以降の活動の必要性和各々が具体的に活動していきたい内容が見えてきました。

次年度の活動

今回の総会でも沢山のご意見が挙げられましたが、話題は主に【関係性づくり】【スキルアップ】【地域への発信】の3つに分けられました。

次年度は地域の就労移行支援事業所の支援員同士が顔の見える関係性を構築しながら、同時に互いの

スキルアップを図っていくことで本連絡会における活動の地盤を形成していきます。そして、将来的には、地域の方々や企業、他の地域資源に向けた発信を目指しているという展望も語られました。

地域の障がい者雇用・就労定着の大切な役割を担うのが就労移行支援事業です。当センターとしても、障がいのある方が安定して働くことができ、企業も雇用を進めていけるよう、地域連携のあり方を一緒に検討する場となるようにより具体的な活動を行っていく予定です。

